

天竜の杉檜と生きる

Vol.15
2011 初夏号



天竜区合同庁舎 完成!!

平成21年度から建設工事を進めてきた天竜区役所および天竜消防署の庁舎が完成しました。新庁舎は、構造や内装に天竜材がふんだんに使われています。これらの木材は、天竜地区の各森林組合が原木を供給し、製材・加工も地域の加工業者が手がけました。(株)フジイチも天竜の製材として納材させていただきました。写真の庁舎の中に入りますと、2階の天井には迫力ある木造トラスが露出し、内装は杉の赤身と白身の色調変化を意識した仕上がりになっています。

天竜の山から力を合わせて納材した庁舎です。一見の価値あり!

野村洋一

2011年 下草刈り体験ツアー

先着
20名

この風景に見覚えはありませんか?



▼2009年春の植林風景



▲2009年春にみなさんが植えてくれた苗はすくすく育っております。

2011年 下草刈り体験ツアー

▼今年はこの木憶(記憶)の1ページに下草刈りツアーを刻みたいと思います。



7月16日(土)

9時30分 フジイチ集合
16時終了予定

先着20名様ご案内です。
詳細はお問い合わせください。



ご参加お待ちしております。
山主より

新緑の一番美しい季節になりました。太陽の光を浴び、美味しい空気をいっぱい吸い込んでみませんか。そして木陰でチヨット一休み。きつと、身体も心もリフレッシュ。
当社の近くに日本有数のボート場(天竜漕艇場)があります。地元からオリンピック選手を輩出し、二年を通じて全国から集まる艇人たちが賑わっています。市民ボート大会の会場でもありまして、かつて私も木材関係グループ「竜友会」のメンバーとしてオールを握りました。その頃の表彰楯が当社に飾られています。相津マリナーでボートやカヌーを借り、さらめく湖面と豊かな緑に包まれた天竜川に漕ぎ出してはいかがでしょうか。少々疲れます。が、きつとそれ以上の満足感が得られることでしょう! さあレッツゴー!

代表取締役社長 鈴木敬雄



TENRYUJINGO
天竜人語

会社概要

設立: 1946年
社員数: 56名
平均年齢: 45歳
業務: 木材業製材業(立木の直接仕入)
資本金: 3000万円
住所: 浜松市天竜区船明880
TEL: 053-926-1232
FAX: 053-926-2879
E-mail: info@fujichi.co.jp
HP: http://www.fujichi.co.jp/

大好評!
山と木と家を知るツアー

フジイチの大切なお客様に

見学・体験会ご案内しています

詳しくはお電話で!
☎053-926-1232



製材

植林

建築

天竜型 仮設住宅建設!



東日本大震災におきまして
震災に遇われました
皆様には心よりお見舞い
申し上げます。

今回の震災を受け天竜の木材組合にて「天竜型仮設住宅」を建設しました。

この仮設住宅はオール木造で出来ており、木の香りに満ちた建物になっています。

木材は情緒を安定させたり、適度な堅さや滑りにくさがあり、体熱を奪いにくく、ストレスの少ない住空間を演出できます。

阪神大震災の折には5年間も仮設住宅生活を余儀なくされた被災者もいたそうです。プレハブの無機質な空間よりも木の持つやすらぎや癒しの効果で、辛く、長い避難生活の一助になれば幸いです。

内山忠彦

環境に配慮した木材の世界基準である「FSC国際森林認証」

浜松市は、天竜の杜を「世界基準」で守ろうと試みています。杜の恩恵に与る私たちは、杜を守り育てることを社命としています。山林を所有する「山主」と、製材品を欲する「施主」の方々の中で私たちの生業は成立しています。「天竜の杉 檜と生きる」は、私たちの素直な実在表現です。

ここに「FSC材が欲しい」の声を頂きました。埼玉の施主の方からです。「一棟分を」との要請でしたが、残念ながら取り扱い始めて半年では原木の調達、製品の品質担保やコーディネートなどが難しく、今回は、柱、下地材の一部を天竜国産材事業協同組合の仲間と共同で納品させて頂きました。

その後「頂いた材はどこ産ですか?」との問い合わせをいただきました。「龍山夏秋」「天竜熊」産材ということで、天竜の中でも地区・地域の産地名称をもって、また誇りをもってお答えしました。

いま、浜松「百年住居の事業」も「FSC材の利用に補助金」を設けています。杜を守る意図を皆さんにご理解いただける良いきっかけになればと思います。

内山千士



天竜国産材事業協組

FSC材を初出荷

国際的な森林認証地元の需要に期待

天竜国産材事業協組(浜松市天竜区)は、FSC(森林認証)材の初出荷を達成し、FSC材の活用を促進しています。FSC材は、環境に配慮した木材であり、持続可能な森林経営を確保しています。天竜国産材事業協組は、FSC材の生産から加工・流通まで一貫して取り組んでいます。FSC材の活用により、環境に優しい木材の供給を実現しています。FSC材の活用により、環境に優しい木材の供給を実現しています。FSC材の活用により、環境に優しい木材の供給を実現しています。

業界動向

先を読む

平成24年度から、森林・林業再生プランが始動され、森林計画制度移行(大規模化)、国産材50%増産計画、大規模工場の建設等々、林業政策は大きく変わります。良く考えると「いつか来た道?」過去の農業施策とも似てないでしょうか。このままで成功すると思いますか?御上の援助は望めますか?今こそ、我々(山側)はFSC(環境)に取り組み、近場の利害を超えて協力し、地に足の着いた林業(経営)を目指すべきではないでしょうか!

総務部長 石野

平成23年度 3名の新入社員に聞く



川島 将洋 (29)
Masahiro Kawashima
浜松市天竜区出身

今年の4月から、ご縁があり入社させて頂きました。以前は高校を中退してからの入社でしたので、もう15年くらい前のことです。当時は、言われるがままに仕事をしていて木の事はあまり気にしたことはありませんでしたが、今度は少しやってみて木は奥が深いことに気づきました。仕事をしていて切り方なども色々悩みます。そんなことを考えると自分は経験者ではなく、ゼロからのスタートと同じだなんて感じます。これからはこの会社で色々なことを考えながら製材し、たくさんの事を経験して木のプロフェッショナルを目指したいです。早く会社にとってプラスになり、みなさんに信頼される人間を目標に頑張っていきたいです。今はまだわからないことも多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。以上を持ちまして入社のご意気込み、そしてご挨拶とさせていただきます。



長谷川 直也 (22)
Naoya Hasegawa
袋井市出身

今年の4月に入社し、1ヶ月が経ちました。就職フェアでフジイチの事を知り、お話しさせていただく中で興味を持ち、後日会社見学をさせて頂きました。初めて見る製材の現場は、とても迫力がありびっくりしました。そして入社させていただくことが決まり、天竜林業は歴史があり知名度もあるので、とても誇りを持って働くことができます。しかし今まで林業の事を勉強したことなどなく、全くの無知で聞いたことがない言葉などたくさんあります。これからも覚えなければいけないことはまだまだありますが、何事にも向上心を持って働いていきたいです。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



齊藤 めい (19)
Mei Saitou
浜松市浜北区出身

今年の4月に入社しました。事務職に就きたいと思い仕事を探していたところ、学校にフジイチから求人が届き、興味を持ちました。会社を見学してもらい、会社の雰囲気や職場の方たちの優しさに惹かれ、入社したいと思いました。入社して1ヶ月半が経ち、仕事にも慣れてきました。しかし高校とは違う環境に戸惑うことも多々あるので、これから馴染んでいきたいです。仕事におおざっぱな部分が出てしまったり、姿勢が悪くなってしまうことがあるので気を付けたいです。お客様が来てても恥ずかしくない行動ができるよう心掛けます。これからも会社に来る方々を笑顔で、気持ちよくおもてなしできるように頑張っていきたいです。まだまだ皆さんに迷惑をかけてしまうことがありますが、早く立派な社会人となるよう努力しますのでよろしくお願い致します。